

# 童話新報

平成21年11月号  
～発行～福生市立中央図書館

## オオズシ

市内の図書館に所蔵しています!



怪異百物語 現代の妖怪  
不思議な世界を考える会編  
ポプラ社

これは怖いけれど「オオズシ怖い」本です。百以上の怖い物語が掲載されています。話と話の間に、面白いイラストもありました。怖い体験談や妖怪に詳しくなる解説ページもついています。小学校高学年から読めるので一度読んでみてください。



プレゼント  
星野夏著  
ポプラ社

今回紹介するのは、『プレゼント』という本です。内容は『あおぞら』という本の主人公「夏」のその後が綴られています。この本を読み終え、自分が生きていることが、とても素晴らしいことであることに実感し、好きな人や家族、友人を大切にしようと思えてきました。



夜は短し歩けよ乙女  
森見登美彦著  
角川書店

主人公は天然キャラで底なしの酒量を持つ黒髪の女子大生と、彼女に好意を持つ偏屈な妄想癖のある「先輩」の二人。この本は彼らを中心に他人よりも数十本単位で頭の螺子の量の違う人々が京都にて繰り広げる四つの話をまとめたものです。二人の主人公が変わりばんこに一人称目線で語るため、思わぬところでの二人の接点に読者だけが気付ける一風変わった本です。



読んで中学生も演じたくなるゲキの本(中学生版)  
布勢博一ほか著  
幻冬舎

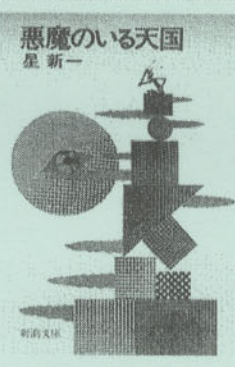
これは台本のようになっていて、本三に演じてみたくなります。話の一番最初に舞台イメージがあります。図書館で借りるのも良いですが、ちよっとしたプレゼントにいかがでしょうか。



Before Run  
重松清

重松 清著  
幻冬舎文庫  
学校で知った「トラウマ」と言う言葉に心を奪われた高校生の優。今の自分に足りないものは「これだ」と思い、優は洋介と誠一の三人で、まだ生きていた同級生のまゆみの墓をつくった。僕は、何かあるたびにそこに行った。この本は、重松清さんのデビュー作です。ぜひ、読んでみてください。

“文学少女”シリーズ  
野村美月著  
竹岡美穂/カバレイラスト  
エンターブレイン/発行  
ファミ通文庫  
男の子なのに謎の天才美少女作家だった井上心葉は、物語を食べちゃうくらいに愛する文芸部長の天野遠子と出会う。“文学少女”こと遠子との奇妙な部活が始まった！各巻でモチーフとなっていて有名な物語と一緒に読みたいくなる新感覚(?)のライトノベルです!



悪魔のいる天国  
星新一著  
新潮文庫

ショート・ショート・ストーリーを三十六編収録しています。どれも難しい言葉を使わず、かつひねりのある落ちをつけた面白い話ばかりです。金属学者で徹底した合理主義のエフ博士が魔人と出会う「合理主義者」や、宇宙から突然飛来した物体を調べていく「調査」。SFの世界だけでなく、日常社会をも舞台に様々な話が載せられています。



心理ゲーム  
今なにか新しいことを始めるとしたら、あなたはなにをしたい?  
出典 『コロまるみえ!心理ゲーム実業之日本社』

## 図書館のあの人にインタビュー



今回は中央図書館の笹本さんにインタビューしました。

イ「お名前は？」  
笹「笹本明裕です」  
イ「図書館ではどのようなお仕事をしているのですか？」

## サンタさんのひみつ...



笹「主に相互貸借業務。他の図書館から本を借りてきて、それを利用者の方に提供できるようにする。橋渡しのなお仕事ですかね。後は、視聴覚資料業務(CD類)とか」  
イ「趣味を教えてください」  
笹「旅行と野球。一番良かったのは北海道の知床です」

イ「小さい頃の夢は？」  
笹「小学生の頃、学者になリたかったです。歴史が好きだったので」  
イ「中学や高校の思い出は？」  
笹「中学の修学旅行で、広島に行った時に原爆ドームを見て、戦争のことか考えさせられました」  
イ「今、行きたい場所は？」  
笹「やっぱり北海道。冬の知床!野生の動物が出てくるので面白そうですね」  
イ「マイブームは何ですか？」  
笹「今は、インターネットのフラッシュで、感動する話を見ることが好き」  
イ「冬にびつたりのおススメのCDはありますか？」  
笹「『紅白(歌合戦)』に出た、『いきものがかり』などの新しいCDが入りましたのでぜひ!」

イ「カラオケでよく歌うのは？」  
笹「スピッツの『チェリー』を良く歌います」  
イ「好きな本はなんですか？」

笹「野球が好きなので金本知憲選手の『覚悟のすずめ』」  
イ「利用者の方に向けて、ひとこと!」  
笹「図書館にはいろいろな本とCDがありますので、ぜひ本と一緒にCDを借りて来てください」

☆番外編☆  
郷土資料室の菱山栄三郎さんにもインタビューしました。  
菱山さん↓菱  
イ「小さい頃の夢は何でしたか？」  
菱「学校の先生になりたかったです。ティチャー!」  
イ「今、行きたい場所は？」  
菱「フィンランドとか一度行ってみたいです」  
イ「最後に利用者の方へひとこと!」  
菱「図書館と郷土資料館は併設しているので、本で調べてわからないことは実際の資料を見て、福生の歴史を勉強してね」

笹本さん、森山さん、お忙しい中インタビューいただきありがとうございます!